

貸借対照表

(2020年3月31日現在)

三共生興ファッションサービス株式会社

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	1,885,194	流動負債	1,695,067
現金及び預金	2,986	電子記録債務	438,222
売掛金	570,834	買掛金	673,602
商品	1,268,118	短期借入金	174,815
未収入金	1,224	リース債務	26,887
未収法人税等	12,896	未払金	99,006
預け金	13,136	未払消費税等	23,246
前払費用	16,575	未払費用	169,625
仮払金	400	預り金	7,660
貸倒引当金	△ 980	賞与引当金	82,000
固定資産	544,003	固定負債	237,608
有形固定資産	244,615	長期預り金	29,650
建物及び附属設備	178,865	リース債務	45,694
器具備品	52,599	資産除去債務	28,983
リース資産	13,150	繰延税金負債	4,595
無形固定資産	35,333	退職給付引当金	128,684
電話加入権	12,267	負債合計	1,932,676
リース資産	19,611	純資産の部	
ソフトウェア	3,454	株主資本	534,076
投資その他の資産	264,054	資本金	360,000
投資有価証券	121,703	資本剰余金	241,600
長期貸付金	695	資本準備金	180,000
長期預け金	4,570	その他資本剰余金	61,600
差入保証金	77,677	利益剰余金	△ 67,523
長期前払費用	59,409	利益準備金	90,000
固定化営業債権	1,555	その他利益剰余金	△ 157,523
貸倒引当金	△ 1,555	別途積立金	430,000
		繰越利益剰余金	△ 587,523
		評価・換算差額等	△ 37,554
		その他有価証券評価差額金	△ 37,554
資産合計	2,429,197	純資産合計	496,521
		負債・純資産合計	2,429,197

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

時価のあるもの・・・決算日の市場価格等に基づく時価法によっております。(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算出しております。)

時価のないもの・・・移動平均法による原価法によっております。

(2) たな卸資産の評価基準及び評価方法

総平均法に基づく原価法によっております。

2. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産（リース資産を除く）

定率法によっております。

ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（附属設備を除く）並びに2016年4月1日以降に取得した建物付属設備及び構築物については定額法によっております。

また、取得価格が10万円以上20万円未満の資産については3年間で均等償却する方法によっております。

リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

売掛債権・貸付金等の債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員に対する賞与支給に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

(3) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。

数理計算上の差異は、各会計年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（5年）による定額法により翌会計年度から費用処理することとしております。

4. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

(1) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

(2) 消費税等の会計処理の方法

税抜方式を採用しております。

II. 当期純損失金額 944,158千円

III. その他の注記

計算書類等の記載金額は、表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。